

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

(千円)

番号	取組の柱	取組の内容	実施 時期	具体的な取り組み (実施事業など)	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和5年度 予算	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
1	ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地	ア-(1)観光客に対する感染対策実施の周知	蔓延期	プロ野球キャンプにぎわい創出事業			29,194 のうち感染症対策分は 4,602		【事業目的】 春季キャンプ来場者に安全で楽しく過ごせる環境を提供することで、来場者の増加及び満足度を向上させ、来場者のリピーター化を促し、観光誘客を図る。 【実施内容】 《感染対策》 ・県のガイドラインに従い、キャンプ実施前には球団にて安全計画を策定し県へ提出行った。また、感染ガイドライン及び安全計画に基づき以下の感染対策を実施。 ・関係者についてはPCR検査をキャンプ前に実施。 ・来場者が入場する際には検温及び手指消毒を実施。手指消毒用アルコールは会場各所（トイレ、ステージ前の机など）に設置した。 ・選手及び関係者入口にサーマルカメラ、自動手指消毒器を設置。 ・球団等の調整により、来場者の声だし応援は可としたが、観戦中はマスク着用をお願いした。 ・スタンド内へは係員、警備員を配置し感染対策を行うように注意喚起等を行った。 ・密をさけるため待機列ができそうな箇所へは足跡マークを設置(例：トイレ、チケット売り場等) ・警備及びメディア控室等については、人が多く滞留するため、控室の広さをコロナ禍前に比べ2倍の大きさに設置。 《感染対策外》 ・来場者が楽しめるようにめんそーれステージを設置し、選手登壇やサイングッズ等が当たる様々なイベントを実施。 ・球団の管理等のもと、サイン会を随時開催。 ・来場者が会場内を把握し易くなるように、キャンプ地会場の各所へ看板やMAPを設置。 【実績】 ○来場者数(2/16～3/5) ・キャンプ期間中合計：124,506人(オープン戦含) ・オープン戦(2/25,26)：14,506人	【評価】 ・球団及び関係機関と連携し、コロナ禍により実施を見合わせていたイベントやファンサービス(サイン会、見学ツアー、声出し応援)が開催でき、来場者数が過去最高を記録するなど、コロナ禍前のにぎわいに戻りつつあると感じた。 ・昨年コロナ禍ではあったが、有観客にてキャンプを開催したことにより、ノウハウや対策の繰引きなどが明確になったことにより、今年のキャンプではファンサービス等が実施できたと考え。 ・感染対策については、球団ホームページ等で広く広報することにより、来場者の理解を得ながら大きな問題も起きずキャンプが実施出来たと考える。 ・観客からは、感染対策を行いつつファンサービス(サイン会)があったことは嬉しいなどの意見が多くあった。 【今後の方針】 ・令和5年度の感染対策については現段階では未定。 令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更となるため、どの程度の感染対策を行っていくか球団及び関係機関と調整を行い検討していく。	観光課
2	ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	蔓延期	市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業 (那覇とまえるクーポン)	No.6に同じ						観光課
3	ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	蔓延期	市内貸切バス事業者支援事業	No.7に同じ						観光課
4	イ 観光関連産業に対する支援	イ-(2)事業継続支援・応援給付金	蔓延期	NAHAMラソンコロナ対策支援事業	5,000	4,821	23,108		【事業目的】 新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続の大会延期となり、継続した大会運営が厳しい状況となっている。第36回大会における新型コロナウイルス対策費用の支援を行い、安心安全な大会運営を図り、次年度以降も大会が継続実施できるよう支援する。 【実施内容】 第36回大会開催にかかる新型コロナウイルス対策費用の支援を行う。 【実績等】 ○代替イベントとして「絆2021 ON-LINE NAHAMラソン ラン&ウォーク」実施、参加者への返礼品購入等に係る費用を補助対象として交付。 参加目標5,000名に対し4,368名の参加申込(昨年実績2,571名)があり、申込者全員に沖縄お土産お菓子セット並びに次の第36回NAHAMラソンへの出場権をプレゼント実施。	【評価】 参加費として「沖縄お土産菓子セット」を参加申込者全員に郵送したことで、SNS等で多くの喜びの声があり、特に、沖縄を訪れることができなかった県外の方へ、沖縄や那覇を感じてもらえたと考え。 また、お菓子セットは、売り上げが落ち込んでいる中、国際通りの土産品店3店舗から購入したことで、事業者支援にもつながった。 【今後の方針】 令和5年度の開催内容および感染対策の有無については未定。	観光課
5	ア 市民・観光客双方が安全安心な観光地	ア-(2)市民・観光関係事業者の感染拡大防止対策	蔓延期	那覇市商店街誘客促進事業補助	予算額 20,000 補正減後 13,692 実績 9,151 繰越 0	決算額 9,151			【実施内容】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店街・通り会が回復に向けて誘客を図ろうとする取り組みに支援(補助金) ・マスク等を購入できる感染防止対策のための補助メニューを追加し、商店街・通り会の感染防止対策にも取り組んだ。 (補助内容) ①イベント補助事業、②クーポン補助事業、③協賛補助事業 ④感染防止対策補助事業 →商店街の規模(会員店舗数)に応じた補助額を設定(最大55万円) ※昨年度(令和2年度)にも実施した「那覇市商店街新型コロナウイルス感染症対策支援事業」と同様の内容。 【実績等】 ○交付決定数：18件(令和4年3月末現在) ①国際通り商店街振興組合連合会、②窓屋やちん通り会、他16件 内、①イベント補助事業：5件、②クーポン補助事業：1件、 ③協賛補助事業：1件、④感染防止対策補助事業：11件	【評価】 感染対策費用の補助は申請が多く、感染防止対策に取り組むことができた。クーポン事業では宿泊・消費喚起につながり、各観光関連事業者への支援を行うことができた。イベント補助事業は5件に留まったが(うち1件はまん延により中止)、多くの人が訪れ、商店街・通り会の各店舗への誘客へとつながった。 【今後の方針】 単年度事業のため終了	なはまち振興課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

(千円)

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取り組み (実施事業など)	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和5年度 予算	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
6	イ 観光関連 産業に対する 支援	イ-(1)消費・ 宿泊需要喚起	回復期	【R3】 市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業 (那覇とまーるクーポン)	460,000	340,437	104,000 (R3繰越分)		【実施内容】 ●R3 市内の宿泊施設、土産品店及び体験型観光コンテンツで利用できるクーポンを発行することで域内の需要喚起を図り、地域経済の循環促進を図ることを目的とする。 【実績等】 宿泊 登録施設数 160 利用人数 36,774人 補助(クーポン)額 180,568,084円 土産 登録店舗数 159 利用件数 のべ398件 補助(クーポン)額 93,740,500円 観光体験 登録店舗数 48 利用件数 のべ90件 補助(クーポン)額 26,586,000円 (予算内容) ・4月補正予算額(宿泊割引及び土産・観光体験クーポン2万枚部分のみ) 180,000千円(宿泊100,000千円、土産20,000千円、観光体験60,000千円) ・準備費充用予算額(宿泊割引及び土産・観光体験クーポン2万枚部分のみ) 180,000千円(宿泊100,000千円、土産20,000千円、観光体験60,000千円) ・11月補正予算額(宿泊割引2万枚部分のみ) 100,000千円(宿泊100,000千円、土産・観光体験クーポンは年度内で利用期間や精算期間を設定するのが困難なため実施無し) ●繰越額 104,000千円 ●R4 (R3繰越分) R4年1月5日から実施予定のとまーるクーポン事業第2弾(宿泊のみクーポン)について、感染急拡大により事業開始を延期し、。更にまん延防止等重点措置の適用を受けたことで事業中止を決定。事業未実施の第2弾予算について事業費をR4年度へ繰り越し。 6/3～7/23チェックイン分を割引対象として事業実施。 【実績等】 宿泊 登録施設数 161 利用人数 16,188人 補助(クーポン)額 75,581,182円	【評価】 コロナ禍で宿泊・観光消費が伸び悩む中での本事業実施は市内多くの宿泊・土産・観光体験の需要創出に一定の効果があったと考えている。 令和2年度実施時に課題となった一部宿泊施設への利用集中に対して「利用上限数、または、収容人数の5割」に達したら利用制限するなど宿泊者の偏りを避けできる限りの公平性に配慮した。しかしながら、宿泊施設が従来より宿泊機能のみに特化した宿泊施設等では利用がない状況があった。 引き続き検討が必要な課題として、予約期間開始直後に予約時に必要なID取得のためにWEBシステムへアクセスが集中しシステムダウンへの対処がある。 【今後の方針】 引き続き、一部宿泊施設への利用集中の回避による事業者間の公平性確保に努める。また、システム業者とも事前に対策を協議し、利用者が快適に予約手続きを行えるよう準備を行う。	観光課
				【R4】 市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業 (那覇とまーるクーポン)	-	-	380,000		【実施内容】 R4 市内の宿泊施設及び体験型観光コンテンツで利用できるクーポンを発行することで域内の需要喚起を図り、地域経済の循環促進を図ることを目的とする。 【実績等】 宿泊 登録施設数 149軒 利用人数 25,000人 補助(クーポン)額 121,744,195円 観光体験 登録店舗数 31軒 利用件数 のべ6,524件(決裁件数) 補助(クーポン)額 48,010,777円 下記の期間及び事業規模で実施した。 ○宿泊補助 R4年12月14日から翌2月6日まで ○観光体験クーポン R4年12月14日から翌2月14日まで (予算内容) ・宿泊割引及び観光体験クーポン原資(4万泊) 320,000千円(宿泊200,000千円、観光体験120,000千円) ・委託費(宿泊・観光体験委託事業者及びシステム開発事業者) 60,000千円 (決算内容) ・宿泊割引及び観光体験クーポン原資 169,754,972円 ・委託費 48,902,931円(宿泊・観光体験45,441,216円+システム:3,461,715円)	【評価】 長引くコロナ禍で消費が伸び悩む中での本事業実施は市内多くの宿泊・観光体験の需要創出に一定の効果があったと考えている。 利用者アンケートにおいては、「普段利用しない宿泊施設や観光体験が体験出来て良かった」との声が上がり、宿泊を通じた消費額については、以下のアンケート結果が得られた。 とまーるクーポン宿泊を通じた消費消費額:2,000円以上 約65% 観光施設・買い物:2,000円以上 約80% 宿泊事業者をはじめ、その他の観光関係事業者にも波及効果があったと評価している。 【今後の方針】 令和5年度の実施有無については未定。	観光課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

(千円)

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取り組み (実施事業など)	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和5年度 予算	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
7	イ 観光関連産業に対する支援	イ-①消費・宿泊需要喚起	回復期	市内貸切バス事業者支援事業	25,000	9,783	13,159		【実施内容】 新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光需要低迷に伴い、利用が激減している貸切バスの利用料の一部を補助することで利用促進を図り、貸切バス事業者支援につなげることを目的とする。 【実績等】 OR3年度は補助対象期間11月18日（木）から2月21日（月）で一台あたり運賃料金の8割、65,000円を上限に補助を行う。利用可能バス事業者は市内に本社または営業所があるバス事業者で、利用対象是那覇市民または市内所在の団体や事業者等。1月9日（日）から沖縄県にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、事業停止。事業停止のまま事業実施期間終了した。 事業執行率：44% 残予算は次年度へ繰越し。 OR4年度は4月18日（月）から6月26日（日）を対象期間とし、補助内容同じで実施。 事業執行率：R3～R4を通して98% 利用実績：R3 利用件数 79件 利用台数197台 R4 利用件数118件 利用台数298台	【評価】 利用者からの好意的な意見が多く、補助があることでコロナ対策での増車が可能となり、遠方への利用にも寄与した。事業者支援の面からも利用促進につながったと思う。 【今後の方針】 R3年度単年度事業を繰越しR4年度実施したため、事業終了。	観光課
8	イ 観光関連産業に対する支援	イ-①消費・宿泊需要喚起	回復期	那覇市地域消費促進事業 (なは賢エール商品券)	380,410	379,371			【実施内容】 新型コロナウイルス感染拡大が続く中、売上減少等の影響が生じている市内飲食店や小売業、サービス業等の店舗や事業者を支援するため、プレミアム付き商品券発行により域内の幅広い業種の横断的な消費喚起を行い、中小事業者の事業継続及び域内消費の拡大を図ることを目的に、実施事務局となる事業者を選定し、委託により実施する。発行総額11億7千万円 【実績等】 〇11月29日に利用開始（令和4年2月末まで）。市民への優先販売を経て、市民・県民向けに2次販売を実施し完売している。 登録店舗：1,852店舗（※令和3月末時点）。	【評価】 ・電子、紙の両方で利用率が99%を超えており、事業目的である消費喚起に繋がった。 【今後の方針】 ・単年度事業のため終了	商工農水課
9	イ 観光関連産業に対する支援	イ-①消費・宿泊需要喚起	回復期	那覇市商店街誘客促進事業補助	№5に同じ						なはまち振興課
10	イ 観光関連産業に対する支援	イ-②事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇市コロナ対策事業刷新支援事業	15,000	14,006	45,000	15,000	【事業目的】 市内に事業所を有する法人又は個人事業主が倒産の回避や雇用を守ることを目指しながら業態の転換や新事業への挑戦等、新たな取り組みに要する経費の一部を支援することにより、事業者の事業継続や成長発展等につなげることを目的とする。 【実施内容】 既存事業の業態転換や新事業へ挑戦をする取り組みに係る費用の一部を補助する。 事業費の2/3、上限1,000,000円 ・1事業者最大100万円（補助率2/3） 【実績等】 令和3年度実績）補助件数：20件（法人11件、個人9件） 補助金額：14,006,000円 令和4年度実績）補助件数：11件（法人6件、個人5件）補助見込金額：8,411,000円 ※見込み	【評価】 採択事業者は飲食業、小売業、旅行業等が中心であり、交付件数が20件（申請件数40件）と、当初の想定件数を上回る申請があり、より多くの市内事業者へ支援が実施できたと評価する。 【今後の方針】 高いニーズを踏まえ、予算増額を検討する。	商工農水課
11	イ 観光関連産業に対する支援	イ-②事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇の名産品・特産品魅力発信事業	7,000	5,667			【実施内容】 新型コロナウイルス感染症で大きく落ち込んだ本市の名産品・特産品の魅力を「那覇ブランド」と銘打って情報発信し、売上及び消費拡大やブランド力向上を図ることを目的に、主に県外消費者向けに既存の情報発信サイトを活用したPR活動や、ECサイトと連動した情報発信から購入に繋げるための仕組み構築（情報発信・ECサイトへの誘客取組み）等を委託により実施する。 【実績】 〇令和3年10月～令和4年2月の間、特設サイト「那覇市すぐりむん市場」をショッピングモール「47CLUB」内にオープンさせ、市内事業者の商品販売やPR等を実施した。「那覇市すぐりむん市場」特集ページ閲覧者数13,440PV、売上合計1,443,605円。	【評価】 総事業費の50%以上の売上を目標にしていたが、達成できなかった。しかし、購入者の75%が県外利用者であることから、県外向けの消費拡大、ブランド力向上という点では一定の効果があった。 【今後の方針】 単年度事業のため終了。 市内事業者の実態や課題等を踏まえた施策展開につなげる。	商工農水課
12	イ 観光関連産業に対する支援	イ-②事業継続支援・応援給付金	蔓延期	市内中小企業経営実態調査	5,578	5,434			【実施内容】 本市中小・小規模事業者の経営に関する実態調査を行い、事業者が抱える経営課題や支援ニーズについて把握し、適切な振興施策立案を行うことを目的に、委託にてアンケート調査・ヒアリング調査を実施する。 【実績】 〇現在、市内事業者に対するアンケート調査票を送付。アンケート調査と併せヒアリング調査を実施、内容分析し報告書を作成。	【評価】 前回調査時(H29年実施)と比較して回収率を向上(11%→18%)させることができたため、より精度の高い調査とすることができた。 【今後の方針】 市内事業者の実態や課題等を踏まえた施策展開につなげる。	商工農水課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

(千円)

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取り組み (実施事業など)	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和5年度 予算	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
13	イ 観光関連産業に対する支援	イ-②事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇市「雇用を守る」事業者支援事業	304,000	274,415			【実施内容】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、月次支援金又は時短等要請協力金の支給対象となった事業者及びこれに相当する影響を受けた事業者へ、雇用の継続等のために行う従業員への待遇改善又は福利厚生の充実等の取り組みに対する応援給付を行う。 【実績】 申請件数 1,047件 支給総額 210,502千円	【評価】 申請件数は想定に達しなかったものの給付金の執行率は87%と想定に近い水準であったことから、事業者が雇用継続等を目的として行った取組みに対し、一定程度支援ができたものと評価する。 【今後の方針】 単年度事業のため終了。	商工農水課
14	イ 観光関連産業に対する支援	イ-②事業継続支援・応援給付金	蔓延期	那覇市商店街活動支援補助金	予算額 8,800 補正減後 5,000 実績 5,000 繰越 0	決算額 5,000			【実施内容】 長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、商店街・通りは地元客及び観光客の減少により開店や休業を余儀なくされる会員店舗が少なく、会費の減免等による収入の減少による商店街・通りの存続にも危機が生じている。これに対して給付金で支援することで通里会等の存続及び活動等の運営を支援する。 (対象) 現在活動中の商店街・通里会 (給付内容) 現在活動中の商店街・通里会に対する一律給付 会員店舗数に応じて給付 (最大50万円) 【活用状況】 ○交付決定数17件 (令和4年3月末現在) 中心商店街：16件 地域商店街：1件	【評価】 会員店舗数に応じた支援金の給付を行ったことで、感染防止対策のための費用や、イベント開催時の自己負担分等の費用に充てるなど、通里会等の存続及び活動等の運営を支援できた。 中心商店街以外の商店街からの申請が1件しかなく、想定していた件数には及ばなかった。元々申請が少ない地域ではあるが、コロナ禍において商店街・通里会活動ができない、または停止しているものと考えられる。 【今後の方針】 単年度事業のため終了	なはまち振興課
15	イ 観光関連産業に対する支援	イ-②事業継続支援・応援給付金	蔓延期	ウェディング支援事業			40,679		【事業目的】 新しい生活様式の中で実施される結婚式等に対し補助を行うことにより、幅広い産業に波及効果を有するウェディング事業者等の支援につなげることを目的とする。 【実施内容】 市内在住の結婚を予定しているカップル等に対して、市内の結婚式場等を使用し、感染対策等を行ったうえで、披露宴もしくはフォトウェディングを行う場合にその費用の一部を補助する。 【実績】 申請件数 185件 交付決定件数 185件 (結納34件、結婚式・披露宴84件、金婚式等3件、フォトウェディング64件) 交付決定額 23,229,000円	【評価】 交付決定者 (185件) に対してアンケート調査を実施したところ、93件 (回答率50.3%) の回答があり、大半の回答者がウェディング支援事業に「満足」「大変満足」と回答しており、全体としては好評であった。当該補助金を活用して結婚式等のグレードアップをした方が4割おり、一定程度の経済効果もあったと評価する。 【今後の方針】 単年度事業のため終了。	商工農水課
16	イ 観光関連産業に対する支援	イ-③新たな観光コンテンツ創出支援	平時	早朝・夜間の活動時間創出支援事業			15,000		【事業目的】 早朝・夜間における観光コンテンツ創出や地域回遊を促す市内事業者等の連携した取組を支援することにより、観光客等の活動時間の創出及び市内消費額の増加に寄与することを目的とする。 【実施内容】 補助対象者：観光まちづくりに資する取組を行うもの など 対象事業：1. 観光客等に対するコンテンツ造成 2. 観光客のニーズ調査やコンテンツ開発に係る実証事業 3. ニーズ調査等を踏まえた情報発信事業 補助率等：通常枠 上限650万円、下限100万円 小規模枠 上限100万円 補助率は申請枠に関わらず2分の1以内 【実績】 補助対象件数：2件	【評価】 ・当初予定では、通常枠・小規模枠2件ずつの支援だったが、実際には総応募件数7件中2件の採択に留まった。事業計画立案の段階から何らかの形で支援を行う必要があると考える。 ・早朝・夜間のコンテンツ創出に着目したが、結果として補助制度として利用し辛いとの声も聞かれたため、幅広いコンテンツ創出の支援について検討が必要。 【今後の方針】 ・国、県でも民間事業者等のコンテンツ創出に対する支援が行われている。それら支援制度を踏まえ、市としての支援の在り方について検討する。	観光課
17	ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-①県内旅行の推進	回復期	市内宿泊・観光体験等促進クーポン事業 (那覇とまえるクーポン)	No.6に同じ						観光課
18	ウ 新しい旅行スタイルの取り込み	ウ-②都市型ワーケーションなどの滞在型旅行の促進	平時	那覇市テレワーク推進施設開設支援事業	20,163	19,675			【実施内容】 テレワーク推進施設の整備・利活用に対する経費の一部を補助することで、県外企業の進出や新たな生活様式に対応した多様な働き方の促進、新ビジネスや産業の創出促進を図り、市域経済産業の振興・発展に寄与することを目的とする。 ・予算額：20,163千円 (補助金等) ・補助限度額：1事業者10,000千円 (施設整備等9,000千円、利活用促進事業1,000千円) 【実績】 以下2事業者へ補助金交付対象事業者として決定。 ○沖縄セルラー電話株式会社 沖縄セルラーフォレストビル (旭町在) ○株式会社コープ沖縄 カフーナ旭橋A街区 (泉崎在。那覇オーバ3階)	【評価】 当初の想定通り、県外企業の進出を目的とした2か所のテレワーク推進施設整備補助を行った。開設後、現時点で県外企業8社の進出があり、本市のテレワーク、ワーケーションの促進に寄与しているものと評価する。 【今後の方針】 単年度事業のため終了。	商工農水課

那覇市コロナ期観光回復戦略 進捗状況・実施予定一覧

(千円)

番号	取組の柱	取組の内容	実施時期	具体的な取り組み (実施事業など)	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和5年度 予算	実施内容・実績等	評価・今後の方針	担当課
19	ウ 新しい旅行スタイルの 取り込み	ウ-(2)都市型 ワーケーション などの滞在 型旅行の促進	平時	那覇市テレワーク施設活用促進 支援事業	10,000	9,967			【実施内容】 市内にあるテレワーク推進施設に関するニーズ等の把握・分析、施設情報等の集約を行い広く発信するとともに、プロモーションを実施し施設の活用や認知度向上を図ることで、関係人口の創出や域内消費額の向上、ビジネス交流等による新ビジネス創出につなげていくことを目的に、当該情報収集業務やプロモーション等を委託により実施する。 ・予算額：10,000千円（委託料） 【実績】 ・実績額：9,966,927円 ○本市に進出可能性のある県外の企業等へのアンケート調査の実施及び市内のテレワーク施設等を中心としたプロモーション動画を作成。調査結果分析によるテレワーク施設利用可能性の高い企業7,000社を選定し本市テレワーク施設に関するリーフレット配布及びPR動画についての周知を行った。	【評価】 本市へ進出する可能性の高い企業群に対し、効果的に市内のテレワーク施設に関する情報の周知・PRができたこと評価する。 【今後の方針】 単年度事業のため終了	商工農水課
20	ウ 新しい旅行スタイルの 取り込み	ウ-(3)都市型 MICE受入の 推進	平時	那覇MICE受入推進事業			2,519	4,000	【事業目的】 本市でのMICE開催を推進する体制を構築し、MICE開催件数増加等による観光収入の増加を図る。 【実施内容】 ○本市とMICEに関係する事業者で構成する「那覇MICE受入推進検討会議」を開催し、今後のMICE受入推進に向けた課題やニーズの把握、取組内容の検討などを行い、次年度以降のMICE受入に関する取組に繋げる。 ○MICE情報を発信する「那覇MICEナビ（仮称）」構築に向け、検討会議からの意見を踏まえたホームページの仕様設計を行い、ホームページ構築・運用に繋げる。 【実績】 ○那覇MICE受入推進会議 3回開催 ・ ・ ・ MICEに関係する有識者にて構成し、本市MICE推進上の課題や取組内容を整理した。 ○市内事業者向けアンケート実施 ・ ・ ・ 対象67件中44件の回答回収。MICE受入に取り組んでいるのはうち39件であった。 ○MICE情報発信に向けたホームページのあり方を整理した。	【評価】 ・本市のMICE推進に向けた取組を整理できた。 【今後の方針】 令和5年度は以下を実施予定。 ・具体的な誘致ターゲットを設定を予定。 ・MICEワンストップ相談窓口の開設準備 ・MICEに活用可能な本市所有施設の事前予約期間の統一について検討	観光課
21	エ デジタル 技術活用促進	エ-(1)観光関連事業者の デジタル技術活用を促進	平時	那覇市コロナ対策事業刷新支援 事業	No.10に同じ						商工農水課
22	エ デジタル 技術活用促進	エ-(1)観光関連事業者の デジタル技術活用を促進	平時	那覇市産業DX促進支援事業				22,000	【事業目的】 市内事業者がデジタル技術を用いて経営基盤強化、ニューノーマルな社会に対応した事業の再構築を進めるため、DX化への移行や、DX移行前の、デジタル化への取り組みが必要と求められる企業の調査をアンケート及びヒアリング等にて行い、市内事業者における状況と業種別の必要性について分析を行うことで、今後の市内事業者のDX促進に寄与することを目的とする。 【実施内容】 ①本市及び沖縄県の現状を踏まえ、アンケート実施によるDX推進が必要な事業者や業種の調査・分析。 ②①の結果を踏まえたデジタル化及びDX化への取り組みが必要と分析された業種に対してヒアリング等の実施。 ③各種調査・分析等を前提とする支援策の提案。	【今後の方針】 主に以下4項目を委託事業として実施する（案） ①市内全事業者を対象としたアンケート調査にて、現状の課題やニーズを把握し、DX推進に必要な取組の整理を行う。 ②①の調査で抽出した、支援が必要な分野・業種の事業者に対してさらなる意向調査を実施し、市内で事業者支援を行っている有識者と抽出した事業者を交えた意見交換を行う。 ③分野・業種や企業規模などの整理軸を設定し、支援策のマトリクスを作成し、市内事業所にも参加いただく報告会にて、那覇市の産業振興に必要な具体的な支援策（案）を、実現に必要なリソースとともに提案する。 ④モデル事業者を選定してDX化取り組みに向けた支援を行う。	商工農水課
23	エ デジタル 技術活用促進	エ-(2)デジタルマーケティングの 推進	平時	那覇市観光統計調査の手法検討					【実施内容】 ○人流データ分析やSNS分析等を実施する事業者へヒアリング実施。 (IT・DX展示商談会へ参加など) ○①次期計画策定時の事前調査（データ収集） ②次期計画策定後、計画に掲げた指標・目標値などの毎年の進捗評価のためのデータを取得するために実施 想定。	【今後の方針】 ・引き続き、デジタルマーケティングに関する情報収集を実施。 ・令和5年度における、次期観光基本計画策定事前調査における調査手法として検討する。	観光課